

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 3 区分
【発行日】令和 4 年 6 月 10 日(2022.6.10)

【公開番号】特開 2020-204916(P2020-204916A)
【公開日】令和 2 年 12 月 24 日(2020.12.24)
【年通号数】公開・登録公報 2020-052
【出願番号】特願 2019-112318(P2019-112318)
【国際特許分類】

G 0 6 F 1/3209(2019.01)

10

B 4 1 J 29/38(2006.01)

H 0 4 N 1/00(2006.01)

G 0 6 F 1/3231(2019.01)

G 0 6 F 1/3234(2019.01)

【F I】

G 0 6 F 1/3209

B 4 1 J 29/38 Z

B 4 1 J 29/38 D

H 0 4 N 1/00 8 8 5

G 0 6 F 1/3231

20

G 0 6 F 1/3234

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 6 月 2 日(2022.6.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

30

【請求項 1】

少なくとも第 1 電力モードと前記第 1 電力モードより省電力の第 2 電力モードとに移行可能な第 1 制御手段と、

所定の復帰要因を検知し第 1 の信号を出力する検知手段と、

前記検知手段から出力された前記第 1 の信号に関する情報を記憶する記憶部を有し、前記記憶部に記憶された前記情報に基づいて第 2 の信号を出力する第 2 制御手段と、

前記第 2 制御手段から出力された前記第 2 の信号に従って、前記第 1 制御手段を前記第 2 電力モードから前記第 1 電力モードに移行させる第 3 の信号を出力する第 3 制御手段と、を備え、

前記第 3 制御手段は、前記第 1 電力モードに移行した前記第 1 制御手段が前記第 2 電力モードへ移行するときに、前記第 2 制御手段の前記記憶部に記憶された前記第 1 の信号に関する情報をクリアにする

40

ことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記第 3 制御手段は、前記第 2 の信号を受信すると、前記第 2 制御手段から前記第 2 の信号の出力を無効にする制御を行い、前記第 1 制御手段により前記第 2 電力モードから前記第 1 電力モードに移行すると、前記第 2 制御手段から前記第 2 の信号の出力を有効にする制御を行う

ことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

50

前記第 2 制御手段は、前記第 1 の信号を受信すると、前記第 2 の信号の出力が有効であることに応じて、前記第 3 制御手段に、前記第 3 の信号を出力することを特徴とする請求項 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記第 2 制御手段は、前記第 1 の信号を受信すると、前記第 2 の信号の出力が無効であることに応じて、前記記憶部に前記第 1 の信号に関する情報を記憶することを特徴とする請求項 2 または 3 に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記第 3 制御手段は、前記第 1 制御手段により前記第 2 電力モードから前記第 1 電力モードに移行すると、前記記憶部の前記第 1 の信号に関する情報をクリアにするよう制御し、その後、前記第 2 制御手段から前記第 2 の信号の出力を有効にする制御を行うことを特徴とする請求項 2 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

10

【請求項 6】

前記第 3 制御手段は、前記第 1 制御手段により前記第 2 電力モードから前記第 1 電力モードに移行すると、前記記憶部に所定の値を設定するよう制御することにより、前記記憶部の前記第 1 に関する情報をクリアにするよう制御することを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

前記第 1 制御手段は、前記第 2 電力モードへ移行するときに、動作停止状態である前記第 3 制御手段を動作可能状態にして、動作可能状態になった前記第 3 制御手段は、前記記憶部に前記所定の値を設定するよう制御することを特徴とする請求項 6 に記載の情報処理装置。

20

【請求項 8】

前記動作停止状態とは、リセット信号が入力されている状態であって、前記動作可能状態は、前記リセット信号が入力されていない状態であることを特徴とする請求項 7 に記載の情報処理装置。

【請求項 9】

前記検知手段は、ユーザからの所定の操作を検知する入力部コントローラであることを特徴とする請求項 1 乃至 8 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 10】

前記検知手段は、外部装置である U S B ホストが送信したデータを受信する U S B ホストコントローラであることを特徴とする請求項 1 乃至 8 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

30

【請求項 11】

前記検知手段は、ネットワークから送信されたデータを受信するネットワークコントローラであることを特徴とする請求項 1 乃至 8 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 12】

用紙に画像を印刷する印刷手段をさらに備える

ことを特徴とする請求項 1 乃至 11 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

40

【請求項 13】

原稿の画像を読み取る読取手段をさらに備える

ことを特徴とする請求項 1 乃至 12 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 14】

少なくとも第 1 電力モードと前記第 1 電力モードより省電力の第 2 電力モードとに移行可能な情報処理装置の制御方法であって、

所定の復帰要因を検知し第 1 の信号を出力する検知工程と、

受信した前記第 1 の信号に関する情報を記憶する記憶部を有し、前記記憶部に記憶された前記情報に基づいて第 2 の信号を出力する第 2 制御工程と、

受信した前記第 2 の信号に従って、前記情報処理装置を前記第 2 電力モードから前記第 1

50

電力モードに移行させる第 3 の信号を出力する第 3 制御工程と、を備え、
前記第 3 制御工程では、前記第 1 電力モードに移行した前記情報処理装置が前記第 2 電力
モードへ移行するときに、前記記憶部に記憶された前記第 1 の信号に関する情報をクリア
にする
ことを特徴とする情報処理装置の制御方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

10

【0 0 0 8】

上記の目的を達成するために、本発明の情報処理装置は、少なくとも第 1 電力モードと第 1 電力モードより省電力の第 2 電力モードとに移行可能な第 1 制御手段と、所定の復帰要因を検知し第 1 の信号を出力する検知手段と、検知手段から出力された第 1 の信号に関する情報を記憶する記憶部を有し、記憶部に記憶された情報に基づいて第 2 の信号を出力する第 2 制御手段と、第 2 制御手段から出力された第 2 の信号に従って、第 1 制御手段を第 2 電力モードから第 1 モードに移行させる第 3 の信号を出力する第 3 制御手段と、を備え、第 3 制御手段は、第 1 制御手段が第 2 電力モードへ移行するときに、第 2 制御手段の記憶部に記憶された前記第 1 の信号に関する情報をクリアにする。

20

30

40

50